

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	心臓手術における人工心肺が術後栄養関連因子に及ぼす影響の検討		
2. 対象患者	2017年1月以降に弘前大学医学部附属病院で心臓手術を受けた患者様		
3. 対象となる期間	2017年1月1日 ~ 2019年 3月 31日		
4. 実施診療科等	麻酔科		
5. 研究責任者	氏名	木下 裕貴	所属 弘前大学医学部附属病院 麻酔科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	共同研究機関はありません。		
7. 研究の意義	現在、心臓手術では早期の経腸栄養再開が推奨されています。しかし、人工心肺の有無による栄養状態を含む術後回復状態の違いに関する研究は少ないため、人工心肺使用の有無と術後栄養関連因子の推移との関係を検討することで、より良い術後栄養管理法の確立に役立つと考えます。		
8. 研究の目的	心臓手術における人工心肺の使用の有無が、術後の栄養関連因子の推移や在院日数、合併症、予後などに関係するかどうかを後ろ向きに比較・検討します。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	年齢や身長・体重、集中治療室入院患者様の病態重症度を客観的に評価するためのスコアであるAPACHE2などの患者背景に加え周術期における血清アルブミン値や体重の変化及び院内滞在日数、転帰等を人工心肺下手術施行群と非使用下手術施行群の2群に分類し、Unpaired T-test、Mann-Whitney' s U検定及び $\chi^2$ 検定などの統計法を用いて比較検討を行います。		
10. 個人情報の保護	それぞれのデータは名前等の記載はせず、またデータ自体は個人の特定性が低いため、解析やデータの公表にあたっては各個人の同定は不可能であり、対象者のプライバシーは十分に擁護されると考えます。収集したデータは麻酔科学講座で保管します。該当患者様およびその御家族から当検討へ批判や拒否の意向が示された場合には該当患者様のデータを削除します。ただし、学会や論文に発表・投稿後に拒否の意向を示された場合、公表後の結果を修正することはできませんので、御了承願います。		
11. 利益相反に関する状況	研究責任者、すべての共同研究者に開示すべき利益相反は存在しません。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座		
	電話	0172-39-5113	FAX 0172-39-5112